

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場会社名 ジャニス工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 5342 URL http://www.janis-kogyo.co.jp
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 山川 芳範
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 富本 和伸 (TEL) 0569-35-3150
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,560	—	27	—	36	—	46	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 51百万円(—%) 28年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	2.59	2.55
28年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	5,280	2,694	50.3	146.80
28年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,658百万円 28年3月期 一百万円

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	3.00	3.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,200	—	60	—	80	—	60	3.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	19,167,715株	28年3月期	19,167,715株
29年3月期2Q	1,059,710株	28年3月期	1,029,710株
29年3月期2Q	18,131,291株	28年3月期2Q	18,261,970株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 平成29年3月期の第2四半期末自己株式数及び期中平均株式数並びに平成28年3月期の期末自己株式数については、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式493,000株を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より、株式会社ファインテック高橋を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、足踏み状態が続いておりますが、雇用環境は改善傾向にあります。しかし、円高や新興国経済の減速による企業収益の悪化の影響を受け、設備投資の回復のペースが鈍化しております。また、英国の欧州連合（EU）からの離脱決定による影響やアジア経済の不確実性もあり、景気の先行きへの不安が広がっております。

当社関連業界におきましては、マイナス金利導入後の住宅ローン金利低下の影響を受けて、新設住宅着工戸数は持ち直しの傾向がみられます。平成28年2月度以降は年率換算で90万戸から100万戸台で推移しており、当面この水準で推移していくと思われまます。

こうした状況の中、お客様にお役立ちできる『提案営業』を推進し、「フロントスリム」トイレを中心とした拡販に注力し、売上高の拡大を図ってまいりました。生産面では、昨年更新した焼成炉により燃費率向上を図ることができ、製造原価を低減させるとともに環境負荷も低減させてまいりました。また従来より全社で取り組んでおりますコスト削減活動を進めるとともに、『業績を尊重する精神』を全社員が常に意識し、製造原価低減を中心に収益率の向上に努めてまいりました。

子会社化した株式会社ファインテック高橋とは、双方の経営資源を有効活用し売上と利益の更なる拡大を図り、将来へ繋がる新たな取組みを計画しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,560百万円、営業利益は27百万円、経常利益は36百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は46百万円となりました。

なお当社は、衛生機器の製造・販売の単一セグメントであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の合計は、5,280百万円となりました。

流動資産は2,393百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金1,120百万円、現金及び預金556百万円、製品419百万円であります。

固定資産は2,886百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産2,485百万円、投資有価証券185百万円、投資不動産169百万円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、2,586百万円となりました。

流動負債は1,256百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金655百万円、リース債務123百万円、1年内返済予定の長期借入金118百万円であります。

固定負債は1,330百万円となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債457百万円、土地再評価に係る繰延税金負債339百万円、長期借入金277百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の合計は、2,694百万円となりました。主な内訳は、資本金1,000百万円、利益剰余金834百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、556百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、56百万円となりました。主な内訳は、減価償却費105百万円、売上債権の減少159百万円による資金の増加と、たな卸資産の増加77百万円、仕入債務の減少76百万円、法人税等の支払額54百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、214百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の売却による収入256百万円による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出59百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、262百万円となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出265百万円、リース債務の返済による支出56百万円、配当金の支払額55百万円による資金の減少と、長期借入れによる収入100百万円による資金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月24日発表の通期業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社ファインテック高橋の株式を取得し子会社としたため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,053千円増加しております。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成28年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	556,834
受取手形及び売掛金	1,120,009
電子記録債権	18,618
製品	419,457
仕掛品	118,864
原材料及び貯蔵品	130,848
前渡金	1,141
前払費用	10,692
その他	17,430
流動資産合計	2,393,897
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	397,187
構築物(純額)	26,363
機械及び装置(純額)	564,826
車両運搬具(純額)	678
工具、器具及び備品(純額)	17,299
土地	1,439,125
建設仮勘定	39,652
有形固定資産合計	2,485,133
投資その他の資産	
投資有価証券	185,371
出資金	220
長期貸付金	19,490
破産更生債権等	4,355
長期前払費用	1,282
差入保証金	37,746
投資不動産(純額)	169,901
その他	8,100
貸倒引当金	△25,255
投資その他の資産合計	401,211
固定資産合計	2,886,345
資産合計	5,280,243

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成28年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	655,440
短期借入金	30,000
1年内返済予定の長期借入金	118,222
1年内償還予定の社債	20,000
リース債務	123,635
未払金	43,890
未払費用	43,626
未払法人税等	29,895
未払消費税等	22,668
前受金	5,164
預り金	10,156
設備関係支払手形	79,362
賞与引当金	74,156
流動負債合計	1,256,219
固定負債	
社債	30,000
長期借入金	277,815
リース債務	96,121
繰延税金負債	13,031
再評価に係る繰延税金負債	339,176
退職給付に係る負債	457,537
資産除去債務	11,038
長期末払金	4,454
長期預り保証金	100,835
固定負債合計	1,330,010
負債合計	2,586,229
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000,000
資本剰余金	184,045
利益剰余金	834,676
自己株式	△153,257
株主資本合計	1,865,464
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	44,941
土地再評価差額金	781,747
退職給付に係る調整累計額	△33,971
その他の包括利益累計額合計	792,717
新株予約権	35,831
純資産合計	2,694,013
負債純資産合計	5,280,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,560,856
売上原価	1,964,562
売上総利益	596,294
販売費及び一般管理費	568,871
営業利益	27,422
営業外収益	
受取利息	238
受取配当金	2,860
受取賃貸料	24,975
その他	4,387
営業外収益合計	32,461
営業外費用	
支払利息	2,654
売上割引	13,130
その他	7,141
営業外費用合計	22,926
経常利益	36,958
特別利益	
固定資産売却益	47,076
投資有価証券売却益	1,300
負ののれん発生益	5,398
特別利益合計	53,774
特別損失	
固定資産除売却損	11,257
和解金	7,000
特別損失合計	18,257
税金等調整前四半期純利益	72,475
法人税、住民税及び事業税	25,626
法人税等調整額	△37
法人税等合計	25,589
四半期純利益	46,886
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,886

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	46,886
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,801
退職給付に係る調整額	2,486
その他の包括利益合計	4,287
四半期包括利益	51,173
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	51,173

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	72,475
減価償却費	105,534
負ののれん発生益	△5,398
株式報酬費用	8,769
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,648
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,918
受取利息及び受取配当金	△3,098
受取賃貸料	△24,975
支払利息	2,654
固定資産売却損益(△は益)	△35,818
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,300
長期未払金の増減額(△は減少)	1,479
売上債権の増減額(△は増加)	159,891
たな卸資産の増減額(△は増加)	△77,897
仕入債務の増減額(△は減少)	△76,937
その他	△45,797
小計	85,250
利息及び配当金の受取額	3,061
賃貸料の受取額	24,975
利息の支払額	△2,376
法人税等の支払額	△54,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	2,600
有形固定資産の取得による支出	△59,013
有形固定資産の売却による収入	256,501
貸付金の回収による収入	930
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	13,454
その他	△130
投資活動によるキャッシュ・フロー	214,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△265,813
社債の償還による支出	△10,000
自己株式の取得による支出	△4,564
配当金の支払額	△55,118
リース債務の返済による支出	△56,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262,215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,405
現金及び現金同等物の期首残高	548,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	556,834

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、衛生機器の製造・販売の単一セグメントであり、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。